

科目責任者 教務委員長

■ 教育目的

薬学科教育課程の締めくくりとして、これまでに学んだ薬学の学習内容を総括し、優れた薬剤師として社会に貢献できるようにするための知識・技能を確認する。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-①、YD-②、YD-③、YD-④、YD-⑤】

■ 学習到達目標

薬学教育モデル・コアカリキュラムに定められた項目について、演習講義により総合的に復習し、知識を整理しながら理解を深める。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：授業内容に示す9項目について整理し、確実に理解しておく。

復習：本演習内で実施する確認テストで間違えた内容は、直ちに復習し理解を深め、知識を確かなものとする。

■ 授業形態

講義

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	物理	物質の物理的性質(物理平衡、物質の移動)、化学物質の分析(酸と塩基、クロマトグラフィー、電気泳動法、画像診断法)、核磁気共鳴スペクトル、質量分析法、他	C1、C2
2	化学	化学物質の性質と反応(アルケン、芳香族化合物、官能基の酸性度・塩基性度、有機ハロゲン化合物、アルコール、アルデヒド・ケトン・カルボン酸)、他	C3、C4、C5
3	生物	器官の構造と機能、細胞を構成する分子、遺伝子、他	C6、C7、C8
4	衛生	栄養と健康、化学物質の生体への影響、生活環境と健康、他	D1、D2
5	薬理	自律神経系に作用する薬、消化器系に作用する薬、循環器系に作用する薬、感染症と薬、悪性腫瘍と薬、他	E1、E2
6	薬剤	薬物の体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)、薬物動態の解析、製剤、他	E4、E5
7	法規・倫理・制度	医薬品医療機器等法、薬剤師法、管理薬に関する規制、社会保障制度、他	A、B、E3
8	病態・薬物治療	循環器疾患、腎臓・尿路の疾患、生殖器疾患、呼吸器・胸部の疾患、内分泌系疾患、代謝性疾患、悪性腫瘍、他	E1、E2
9	実務	処方せんの監査、疑義照会、調剤、医薬品管理、麻薬・覚せい剤、血液製剤、消毒剤、他	F

■ 授業分担者

杉山 重夫・兎川 忠靖(No.1)、高取 和彦・飯田 克巳(No.2)、浦辺 宏明(No.3)、大山 悦子(No.4)、菱沼 滋・野澤 玲子(No.5)、小林 カオル・下川 健一(No.6)、廣瀬 誠・山崎 紀子(No.7)、池上 洋二・榎山 暁史(No.8)、大野 恵子・安 武夫(No.9)

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

期末試験(総合医療薬学演習試験)の成績によって判定する。